



主な取扱商品

○本社所在地：鹿児島県鹿児島市泉町13番20号

○事業概要：食品卸売・精米業

○常時使用する従業員：47名

（グループ全体・2025年5月時点）

○現在の売上高：68億円

（グループ全体・2024年5月期）

○法人番号：9340001002630

○Web：https://www.k-takai.co.jp/

株式会社タカイ（食品卸売・精米業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
高井 顕

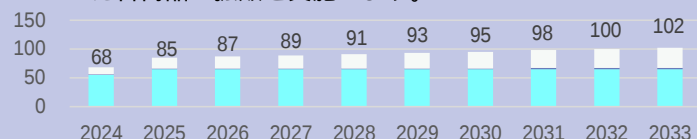
食と健康の明日をひらく信頼のパートナーとして地域社会に貢献します

当社は大正10年創業で、2021年には100周年を迎えることができました。奄美・沖縄の黒砂糖販売からスタートし、今日の「株式会社タカイ」に育ってまいりました。現在の営業は砂糖のほかに、雑穀・小麦粉・澱粉・食用油・卵・クロレラ・缶詰等を取り扱う一方で、米販事業にも進出、美味しい「つくたて米」をお届けしております。多種多様な食生活に対応すべく、グループ体となって地域の食と健康の文化を追求し、社会貢献に寄与できる企業として邁進してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年度の売上高100億円達成に向けて、精米卸売業をはじめとした各商品の拡販を実施します。



課題

- ・米の供給不足により玄米確保対策が課題である。
- ・本場で精米事業を行っているが、既存の精米機能・保管機能では当社顧客からの需要に応える生産量を確保できていない。
- ・玄米調達、低温保管、精米、流通拠点が一体となっていないため、各業務で効率化の限界が出ている。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

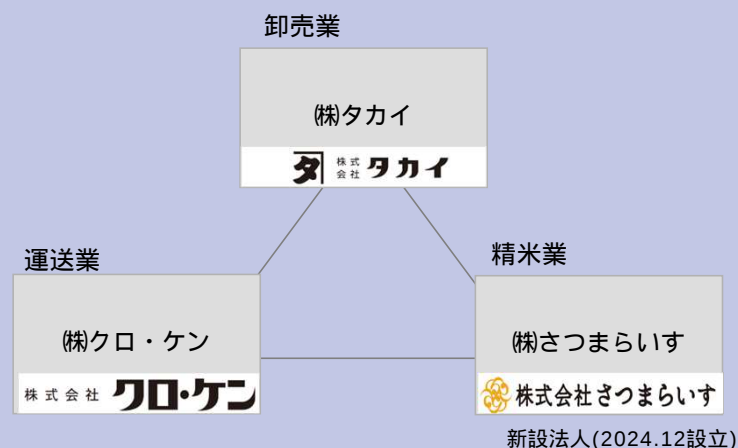
- ・当社は国民の主食である米を中心として売上高100億を目指します。昨今の米不足の中で消費者へ適正価格で安定した供給を実現するには、高品質な「検査米」を安定的に調達することが必須となります。検査米は未検査米より10～20%ほど割高ではありますが、安心安全な米を供給するためにも、米農家・米集荷業者との契約を拡大して検査米の調達を拡大します。
- ・この取組みのため、本格的な精米事業への進出と、新たな大型倉庫取得による玄米調達、低温保管、精米、流通の一気通貫体制の構築を実施します。「ヒト・モノ・カネ・情報」の経営資源を効率化かつ最大化し、当社グループの販売力をさらに向上させ、さらに効率化によるコスト圧縮効果で販売価格を適正に維持したまま利益を確保することが可能となります。

実施体制

- ・玄米調達のための米農家および集荷業者との関係強化
- ・新設の大型倉庫の取得
- ・当社既存倉庫の移転集約（新設大型倉庫へ）
- ・グループの運送会社の機能移転集約（新設大型倉庫へ）
- ・玄米調達、低温保管、精米、流通の新たな仕組みを構築
- ・拠点集約によるグループとしての精米量の増加

本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現目標とグループ体制



タカイグループは、各種食品の卸売業を営む(株)タカイを中心として、運送事業を行う(株)クロ・ケンの2社で構成されています。

(株)タカイでは米をはじめとした食品の販売と小規模な精米を行っておりますが、当社グループの成長戦略の礎として、米の安定した供給を通じた地域経済への貢献を掲げており、「米の安定供給のための調達・保管・精米・流通環境の一気通貫した体制の構築」をもって実現できると考えております。

2024年12月に、成長戦略の実行のため本格的な精米事業に進出すべく、新たなグループ会社として精米事業を行う(株)さつまらいすを加え、現在では合計3社でのグループ構成となっています。

さらに新規で大型倉庫を建設し、(株)クロ・ケンと(株)さつまらいすを集約することでサプライチェーンを当社グループ内で効率的に実施できる体制を構築します。グループ内部にて精米事業と各種食品の間屋機能を持ち、さらに流通手段も抱えており、玄米調達から低温保管、精米、流通までの商流を一気通貫で行うことができます。

米農家との契約、米集荷業者との契約を拡大して適正な価格で高品質な玄米(検査米)調達を安定的に確保し、グループの効率的なサプライチェーンで「安心安全な米」を消費者に供給することで当社グループの成長を実現するとともに、地域経済への貢献を果たしてまいります。

グループ売上高

